

《演習1》拒否傾向の強い患者への治療的関わり

患者の全体像を考えてみよう

患者紹介；大橋明日香さん 40歳 女性

30歳で統合失調症を発症しました。その後、寛解と再発を繰り返しています。2ヵ月前に自宅で強い幻覚が生じたため、自ら受診し入院しました。

薬物療法で症状が安定していますが、ときどき「部屋から出るな」といった幻聴が聞こえています。また陰性症状である無為・自閉傾向がみられ、病室に閉じこもりがちになることもあります。入院生活では、午後から作業療法室でビーズ作りの作業療法を行っています。

▶ 患者紹介 視聴後

患者の全体像（看護をする上で重要となるポイント）

他に必要な情報

-
-
-
-
-
-
-
-

▶ 患者紹介 不適切事例（学生の不適切な精神看護技術） 視聴後

学生の関わりの問題点を指摘してみましょう。

-
-
-
-
-

▶ 事例の振り返り（学生の不適切な精神看護技術の解説） 視聴後

あなたならどのようなコミュニケーションをとりますか？

-
-
-
-
-

事例に対してシミュレーション演習してみましょう。

 役割分担	1回目	2回目	3回目	事例のまとめ
リーダー役				/
看護学生役				
患者役				
観察者役	上記以外	上記以外	上記以外	

❗ 患者役のポイント

- ・最初は幻聴を聞き入っており、学生の声かけに反応しないでください。学生が身体に触れてきたら大袈裟に驚いてください。
- ・作業療法への誘いについては断ってください。その理由を聞かれたら「行ってはいけない」と(幻聴に)言われていると返してください。
- ・患者の気持ちに答えずに作業療法の誘いだけであれば、「出て行け」などと言って学生を病室から追い出してください。
- ・幻聴に対して否定も肯定もされず、患者の気持ちに寄り添うような関わりには従ってください。また、健康的な側面への関わり(映像ではトランプ)をしている間は、幻聴は聞こえてきません。その点を学生に指摘されたら認めてください。

✔ 評価のポイント

以下は標準的な評価ポイントになります。適宜、追加・修正してご活用ください。

患者と視線の高さを合わせることができた	○・×
患者の表情の観察ができた	○・×
患者と適切な距離を保ちながら関わる事ができた	○・×
患者の反応を待ってコミュニケーションをとることができた	○・×
作業療法への誘いができた	○・×
作業療法へ参加したくない理由を聞き出すことができた	○・×
幻聴に対して否定しなかった	○・×
幻聴に対して受容的な態度で関わる事ができた	○・×
(可能であれば)健康的な側面への働きかけができた	○・×
	○・×
	○・×
	○・×

患者の全体像を考えてみよう

患者紹介；大橋明日香さん 40歳 女性

30歳で統合失調症を発症しました。その後、寛解と再発を繰り返しています。2ヵ月前に自宅で強い幻覚が生じたため、自ら受診し入院しました。

入退院を繰り返しており、長期の抗精神薬による副作用、また入院してからの運動量低下などで強度の便秘傾向にあります。

▶ 患者紹介 **視聴後**

患者の全体像（看護をする上で重要となるポイント）

他に必要な情報

-
-
-
-
-
-
-
-
-

▶ 患者紹介 不適切事例（学生の不適切な精神看護技術） 視聴後

学生の関わりの問題点を指摘してみましょう。

-
-
-
-
-

▶ 事例の振り返り（学生の不適切な精神看護技術の解説） 視聴後

あなたならどのようなコミュニケーションをとりますか？

-
-
-
-
-

事例に対してシミュレーション演習してみましょう。

 役割分担	1回目	2回目	3回目	事例のまとめ
リーダー役				/
看護学生役				
患者役				
観察者役	上記以外	上記以外	上記以外	

❗ 患者役のポイント

- ・ ベッド上に横になり、お腹をさすりながら辛そうな表情をしてください。
.....
- ・ お腹に「ネズミ」がいることを、確信を持って学生に話してください。
.....
- ・ お腹に触れることに最初は抵抗してください。ただ、気持ちに寄り添うような関わりが続いたら触れることを認めてください。

✔ 評価のポイント 以下は標準的な評価ポイントになります。適宜、追加・修正してご活用ください。

患者と視線の高さを合わせることができた	○・×
患者の表情の観察ができた	○・×
患者と適切な距離を保ちながら関わる事ができた	○・×
患者の反応を待ってコミュニケーションをとることができた	○・×
幻覚(ネズミ)について否定しない	○・×
傾聴的な態度で関わる事ができた	○・×
共感的な態度で関わる事ができた	○・×
受容的な態度で関わる事ができた	○・×
心配していることを伝え、フィジカルアセスメントができた	○・×
看護スタッフへの報告の許可を得た	○・×
	○・×
	○・×
	○・×

※ シミュレーション演習については、下記の書籍に詳細が記されています。ご参照ください。
山本勝則・守村洋編；看護実践のための根拠がわかる 精神看護技術 第3版、メヂカルフレンド社、2023